

単元名 器械運動(跳び箱運動)

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 跳び箱運動では、その行い方を理解するとともに、切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりすることができる。
- (2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。
- (3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり場や器械・器具の安全に気を配ったりしようとする。

標準的な展開例

06100104_001

【準備等】跳び箱、マット、セーフティマット、踏切板、踏切板調整器、ビデオ、技の連続図、学習カードなど

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 など |
|---|--|
| <p>1 跳び箱運動の学習のねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや進め方を知る。 ★いろいろな高さや向きの跳び箱を跳んだり、新しい技や発展技を身に付けよう。 ○学習カードや資料の使い方を知る。 ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○グループを編成し、役割を分担する。 ○跳び箱運動に関連した体ほぐしの運動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・かえる足打ち、馬跳び、跳び下り、跳び箱を使つての腰上げなど ○試しの運動をし、課題をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・開脚跳び、かかえ込み跳び、台上前転 <p>2～4 跳び箱運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体ほぐしの運動をする。 ○本時の課題や練習方法を確認する。 <p>○今できる跳び方で高さや向きの違う跳び箱を跳ぶ。</p> <p>○技のステップに応じた練習の場で、発展技や新しい技に挑戦する。 <ul style="list-style-type: none"> ・(発展技) 首はね跳び、頭はね跳び </p> <p>○反省し、まとめるをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・できばえ、態度、次時の課題の把握など </p> <p>5 発表をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体ほぐしの運動をする。 <p>○演技種目の練習をする。</p> <p>○発表をする。</p> <p>○単元のまとめをする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオや資料などを利用し、技の種類を知らせ、学習意欲を高める。 ・器具が速やかに準備できるよう分担する。 ・腕による体の支持や腕を支点にした体重移動などの感覚を経験させる。 ・できる技を確認させ、次時の課題をつかませる。 ・自分から進んで取り組めるように、学習カード、ビデオ、連続図などを用意し、学習環境を整える。 ・いろいろな場を設定する。 ・易しい場から段階的に取り組めるようにする ・友達と見合い、教え合えるようにする。 ・自己の能力に適した課題に取り組んでいるかを確認する。 ・場や器具の安全に配慮させる。 【評】安全に気を付け、友達と助け合って技を練習する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 【評】自分に合った課題をもって練習する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する ・単元のまとめとして発表させる。 ・発表する跳び箱に補助具や補助者を置いた易しい場を用意し、完全なできばえでなくてもできたことを認め、発表できるようにする。 ・単元のまとめとして、発表させる。(発表は集団跳び箱として行ってもよい。) 【評】発表を通して、「知識・技能」を評価する。 ・感想の発表や学習カードによる自己評価などをさせる。 |

【 備 考 】

跳び箱運動は、「腕による体の支持」「高所からの跳び下り」「体の投げ出しからの腕支持」「腕を支点にした体重移動」などの力や感覚が必要である。これらの力や感覚を体ほぐしの運動の中で、易しい類似の運動によって体験させていく。本単元では、基本的な技に取り組みせ、安定してできるようにするとともに、できる跳び方で、いろいろな向きや高さの跳び箱に挑戦させたり、発展技や新しい技に挑戦させたりする。児童が運動の楽しさや喜びに触れることができるように、それぞれの技のステップに応じた場を設置し、易しい場や条件でできたことを認め、新たな挑戦課題へと段階的に取り組めるようにする。「ペアやグループで組み合わせた演技」を取り入れてもよい。

<運動が苦手な児童への配慮の例>

・かかえ込み跳びが苦手な児童には、マットを数枚重ねた場を設置して、手を着きやすくしたり、跳び越しやすくしたり、体育館のステージに向かって跳び乗ったりして、跳び越しやすい場で踏切りー着手ー着地までの動きが身に付くようにするなどの配慮をする。

・伸膝台上前転が苦手な児童には、マットを数枚重ねた場や低く設置した跳び箱で腰を上げたり、速さのある前転をしたりして、膝を伸ばして回転する動きが身に付くようにするなどの配慮をする。